



2013年9月～10月

活動案内版64号

里山あーと村 だより

里山あーと村実りの季節がやってきます！

今年の夏は暑かった…いつもは涼しく感じる里山の森の中でも暑さを感じました。さて、そんな夏もそろそろ終わり、いよいよ！里山あーと村実りの季節がやってきます。棚田の稲やサツマイモも収穫を待っています。その他にもどんぐりをはじめとした森の木の实やきのこなどなど、秋のあーと村にはおいしいものがたくさんですよ！この季節ならではの！を一緒に味わいましょう♪



合同行事

里山実りの体験

5月に田植えをした稲(品種:ヒノヒカリ)の刈り取り&同じく5月に植えたサツマイモやサトイモの収穫を行います。サツマイモは新品種にチャレンジしています。どんな味なのか！？お楽しみに！

▼日時 10月13日(日) 9:30～15:00
(雨天の場合は10月27日に変更)

▼内容 棚田での稲刈りといも掘り
お昼ごはんは手打ちそばと新米のおむすびの予定です。

▼参加費 一般600円/人・会員 400円/人(昼食込)

▼持ち物 汚れても良い服装(長袖長ズボン)・靴、帽子、軍手、飲物、箸

▼申込 はがき・FAXで事務局までお申し込みください。あーと村ホームページからも申し込めます。
10月3日 切 抽選30組。市民と市政9月15日号掲載。



スケジュール

月	日 (曜日)	合同 行事	農部会			森部会	環境施設部会		
			やさいの会	そばの会	野外料理 研究会	森づくり	ものづくり	エコ エネルギー	ビオトープ
9	1(日)		○	○					○
	8(日)					○			
	15(日)						○		
	22(日)				○		○		日程変更
	29(日)								
10	6(日)		○	○					○
	13(日)	里山実りの体験		出店					
	20(日)						○		
	27(日)	(実りの体験予備日)			○			○	日程変更

部会の活動

やさいの会(第1日曜日 他)

9月1日(日) 8:30~

- ①畑の準備(耕運、肥料まき)
- ②秋冬野菜の種まき&定植

10月6日(日) 8:30~

- ①秋野菜の収穫
- ②草取り、水やりなど畑の管理

▼持ち物:飲み物・帽子・軍手・タオル・作業しやすい服装(長そで、長靴)・汗をかいた後の着替え

★やさいの会ひとこと memo

これから、秋冬野菜の植え付けの時期です！おいしい冬に向かって頑張りましょう！！

そばの会(変則の日程)

9月1日(日) 8:00~

ソバ畑の作業は草刈りと土寄せです。作業終了後、そば打ち練習

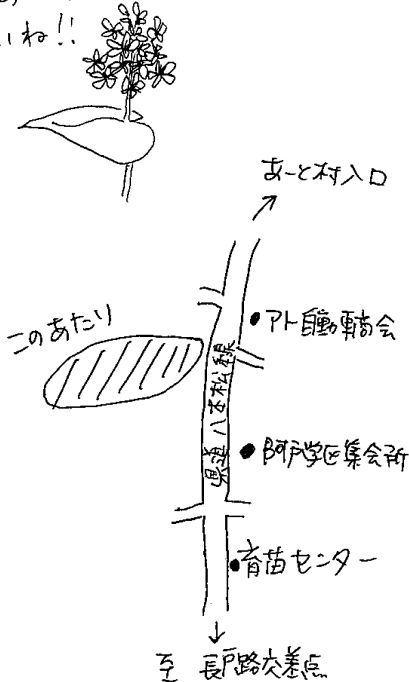
10月6日(日) 8:00~

ソバ畑の作業の後、そば打ち練習

10月13日(日) 里山実りの体験出店

そばの会の
そばの花が咲き頃を迎えます。

9月中旬ごろ 小さな白い花をたくさん
咲かせます。あと村に来るときに
見せたいね!!



野外料理研究会(変則の日程)

9月22日(日) 10:00~

鯛の塩窯 or スペアリブ

(どちらか手に入る食材で決めます。当日をお楽しみに！)

10月27日(日) 10:00~

石窯づくり 雨天でも活動します。窯の部分に使用する耐熱レンガ削りなど屋内でできることをやりますので、ぜひご参加ください。

★野外料理研究会ひとこと memo

石窯づくりは毎日行っています(臨時休業あり)平日でも参加できる方は事務局までご連絡ください。

森づくり(第2日曜日 他)

9月8日(日) 9:30~

水車小屋付近の下刈り・間伐

▼持ち物 汚れても良い服装、靴、手ぬぐい、帽子、軍手、飲み物など

★森づくりひとこと memo

木が茂って日光も遮られ、風の通りも悪くなって、立ったまま根が腐って枯れた木が目立ちます。これを改善してやらないと森も死ぬるし、当然ながら炭酸ガスの吸収や治水効果が失われることとなります。すこしづつでも改善を図りたいと考えています。

ものづくり(第3日曜日 他)

9月15日(日) 9:30~

ログハウスデッキの改修

10月20日(日) 9:30~

ログハウスデッキの改修

▼持ち物 作業に適した服装、軍手、手ぬぐい、帽子、飲み物など

★ものづくりひとこと memo

先輩たちが苦労を重ねて、作ったログハウスも老朽化が進みつつあります。できる限り原型と受け継ぎながら、長持ちする方法を考えていきたいと思っています。

エコエネルギー(第4日曜日 他)

9月22日(日) 9:30~

太陽光発電施設のメンテナンス

10月27日(日) 9:30~

太陽光発電施設のメンテナンス

★エコエネルギーひとこと memo

エコエネルギーの活動は今話題(?)の太陽光発電の仕組みについて学べるチャンスですよ~!! 部会に入っていないなくても、活動には参加できますので見学しに来てください

ビオトープ(第4日曜日)

9月1日(日)9:30～ ※日程変更

草刈りなど環境整備、生き物観察

10月6日(日)9:30～ ※日程変更

草刈りなど環境整備、生き物観察

▼持ち物 汚れても良い服装、長靴、帽子、手ぬぐい、軍手、飲み物、弁当など

★里山ビオトープ～今年の夏～

暑さが一段と厳しかったこの夏“里山ビオトープ”でも色々な生き物の活動が観察されました。

その1

人の足音に驚いた小さなイナゴが草むらから水面に飛び込んで逃げようとして泳ぎ始めました。すると水面の小さな波紋に中型のトノサマガエルが一匹反応して「スィー」と泳ぎ寄ってきました。イナゴは必死に泳いで岸にたどり着きましたが、それにカエルが飛びかかりました。食うもの、食われるもの、まさに自然の中の小さなドラマでした

その2

ビオトープの池の水底にシマヘビが丸まって沈んでいます。池の中のシマヘビはめずらしくないのですが、どうも2匹が一体となっているようです。5分ほど観察していると、気泡がプクプクと浮き上がり、丸まっていたヘビの体がほどけて2匹になり、水面を泳いで草むらに消えていきました。あまりの暑さで水中での交尾だったのかと感心しました。

夏のビオトープには活発な生き物の動きがあります。秋には生命の充実する姿を観察することができそうです。ぜひ“里山ビオトープ”足を運んでみてください(渡辺秀人)

あーと村伝言板

里山あーと村 阿戸中学 Jazz Live

7月17日(水)に阿戸中学校音楽教室で1～3年生の音楽授業を使つての生ジャズ演奏を行いました。森ジャズのプロデューサーの藤井さんを始めとしたプロのミュージシャンの奏でる本物の音楽が、これからの阿戸の「まち」を担う子どもたちにもしっかりと伝わったようです。あーと村と阿戸の「まち」と「ひと」が繋がる機会をまた一つ増やして下さった、藤井さんに感謝!

森の親子工作教室開催結果

7月21日、夏休み初めの日曜日に行いました。夏休み

の宿題をこれで終わらせよう(?!?)子供たち51人が遊びに来てくれました。今回はランプシェード作りがテーマです。材料は森で拾った小枝と和紙です。子どもたちがそれぞれ思い思いに作成していました。



森のJazz Live 2013 開催

8月25日(日)に雨天のため、阿戸中学校で開催しました。里山あーと村の森の中でライブがやりたい!との思いから、天気予報とにらめっこしながら、直前までどちらにするか悩みに悩んだ末の判断でした。運営にあたっては、手際の悪いところも多かったと思われるのですが、里山の会のスタッフ&横倉委員長&藤井プロデューサーが一体となって、会場の雰囲気をいい方向に引っ張っていただけのおかげで、お客さんからの苦情もほとんどなく、いいライブになったのではないかと感じています。会場となった阿戸中学校の校長先生から、「中学校としては、学校に多くの方々が来校していただき、楽しんで使っていただけただけを本当に喜んでおります。学校にしばらく縁がなかった人たちも、足を運んで懐かしく感じられたのではないのでしょうか。学校を身近に感じていただくことがなかなかできないので、このご縁がうれしいです。」とのコメントをいただきました(←こちらこそ!)

阿戸中学校のホームページでも当日の様子をUPしていただきましたので是非ご覧ください

(<http://cms.edu.city.hiroshima.jp/weblog/index.php?id=j1072>)



↑体育館の様子

<以下、横倉委員長のコメント>

初めての雨天での阿戸中学校体育館での、13th 森ジ

ジャズの開催でしたが、無事の大成功に感謝致します。
ありがとうございました。

ホントに素晴らしい里山あーと村森ジャズ実行仲間を誇りに思い、このメンバーなら何でも無し得ると確信致します。本当に、雨の中での運営に心から感謝申し上げます。どうぞ、しっかりと休養を取られて爽秋をお迎え願います。

森のジャズライブ2013実行委員会 委員長横倉恒利



↑ 体育館から離れてしまった飲食用の教室でも即興のミニライブが開かれました！

里山つれづれ Vol.3

私と“あーと村”の関わり、そして未来について

1. あーと村”との出会い…

私が里山保全活動に興味を持ち始めたのは、趣味の釣好きが高じての事です。何時までも魚釣りをしたいが故、魚を育てていくには、どうしたら良いのか？と考へて、結局、海に流れ込むミネラル豊富な水源の元である森を育てる事と結論付けていた。その頃に、会社のボランティア窓口から、あーと村の里山整備の話が舞い込んで来たので直ぐに申込み、活動を開始した次第です。

2. 里山を取り巻く環境…

かつては、定期的な下刈りや落ち葉かき等で、林床が綺麗に保たれていた事により、里山の環境や動植

物達と共存、共栄が図られていた。しかし、1950年頃迄の燃料革命時期から里山を取巻く環境は、一変した。薪や炭を生産する機能を失った里山林は、一斉に放置され里山の風景も大きく変貌した。ヤブ化した里山は、蔓など繁殖の旺盛な雑木等の種類が一面を覆い、人が里山に近寄れなくなり、生物多様性が低下して来ている。そして、荒れた里山林は、イノシシ、シカ等の野生鳥獣の格好の棲み家となり、里の作物を荒らしたり、人への攻撃を与える等、人々の生活との間で様々な摩擦を生じる現象も多発している。その様な中、地球温暖化防止、脱石油エネルギーが叫ばれ、市民の里山や森林に対する考え方が変わり、自然再生への取組みも各地で展開されて来ている。ただ、荒廃した里山等の再生は、個々の力だけでは難しく、短期間で再生出来ない。

3. 里山あーと村の昔今…

あーと村での活動当初も森林の手入れが行われず暗い森であった。しかし、地元メンバーや市民ボランティアや区役所メンバー達の三位一体の活動を地道に継続して来た事により、木漏れ日が差す心地良い森に生まれ変わって来ている。そして、その森の中央部では、毎年、プロの演奏家によるJAZZ-LIVEを開催し、市民の方々に憩いの時間を提供出来ている。ただ、中央部以外では、まだまだ除伐や間伐等の作業が必要な場所が散見しており、定期的な手入れを継続している状況である。

4. 里山あーと村の未来へ向けて

あーと村に関わるメンバーにより将来像を描いておりますが、詳細プランの精査活動に入っている最中であり、今後、多くの人々と森林との様々な関わり合いの中で、絶え間ない人の営みや努力により、多様で豊かな森林が守られ育てられ維持される里山となる様に、地元、市民、官のメンバーにより、三位一体での活動を推進して行きたいと思っております。

(やさいの会 石原 正)

お問い合わせ・お申し込み先

里山あーと村運営協議会事務局

■住所 〒736-8501

広島市安芸区船越南三丁目4-36 安芸区役所農林課内

■電話 082-821-4946 (農林課直通)

■ファクス 082-822-8069 (区役所代表)

■e-mail ak-norin@city.hiroshima.lg.jp (表題に「里山あーと村」をつけて下さい。)

■ホームページ <http://atomura.sakura.ne.jp/> (運営協議会ホームページ)

広島市のホームページ → 安芸区役所のホームページ → 里山あーと村 (広島市のホームページ)

※阿戸町連合町内会のホームページ (<https://www.com-net?city=hiroshima.in/ato/>) のリンク集から

里山あーと村
SATOYAMA ATO-MURA